

2026年4月20日

月島 JFE アクアソリューション株式会社

ネットゼロへの挑戦

月島 JFE アクアソリューション株式会社は、
ベトナム社会主義共和国／ハノイ市下水汚泥脱炭素型焼却炉導入可能性調査事業が、
経済産業省の令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金
(小規模実証・FS事業) に採択

月島 JFE アクアソリューション株式会社 (以下、「TJAS」、社長：鷹取 啓太) は、2026年2月5日、ベトナム社会主義共和国／ハノイ市下水汚泥脱炭素型焼却炉導入可能性調査事業が、経済産業省の令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金(小規模実証・FS事業)に採択されたことをお知らせします。

この度、採択された事業はハノイ市における下水処理場から発生する汚泥の処理方法に関する課題に対し、汚泥専用脱炭素型焼却炉の導入可能性を調査し、メタン排出削減量から二国間クレジット制度(JCM)等によるクレジット化(排出削減量)、PPPスキームを活用した事業化の可能性を調査することを目的としています。

* 令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金

(小規模実証・FS事業) 特設 HP <https://gs-ho-jo-web-fspoc.jp/index.html>

■ 採択事業名称

ベトナム社会主義共和国／ハノイ市下水汚泥脱炭素型焼却炉導入可能性調査事業

■ 事業概要

ハノイ市では、独立行政法人 国際協力機構(JICA)の円借款事業により整備された同市最大規模のエンサ下水処理場(処理水量270,000m³/日、対象人口:約100万人相当)が、2025年6月に本格稼働しました。結果として、同市で発生する下水汚泥量は日量最大300トン規模となり、従来の埋立処分場の許容量を大幅に超過するため、有効な対応策が求められています。

本調査事業では、下水汚泥の減容化を推進すべく、2017年に国土交通省の下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)に採択された脱炭素型下水汚泥焼却炉「OdySSEA」の導入可能性を調査します。脱炭素型下水汚泥焼却炉「OdySSEA」は従来型に比べて温室効果ガス排出量を50%以上削減しつつ発電も可能な高効率技術で、汚泥の大幅な減容化・資源化に寄与します。

併せて、適地選定、環境影響評価、施設基本計画の策定、そしてPPP(官民連携)スキームによる事業性の検討や、JCM(二国間クレジット制度)によるCO₂削減量のクレジット化の適用等を総合的に検証してまいります。

また本事業は、当社が加入する横浜水ビジネス協議会の事務局を務めるとともに、長年にわたりハノイ市の下水道運営力向上を支援してきた横浜市下水道河川局と連携します。行政の協力を得ながら、二国間ワークショップ等を通じて、多様な課題解決に向けた対話を深め、目指すべき

官民連携事業をより実効性の高いものとしします。

本調査事業を通じ、ハノイ市の喫緊の課題を解決し、長期的にはネットゼロに貢献すべく、ベトナム初となる脱炭素型下水汚泥焼却炉「OdySSEA」による事業化の実現を目指します。



エンサ下水処理場全景（2025年3月下旬撮影）



ハノイ市建設局、横浜市下水道河川局
およびTJAS
ハノイ市の汚泥課題解決に向けた協力関係構築
(2025年8月撮影)

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島 JFE アクアソリューション株式会社 海外事業推進部 TEL 03-5560-6583

月島ホールディングス株式会社 広報・IR部 TEL 03-5560-6503

以上